

2012年12月17日

報道関係各位

ジェットスター・ジャパン株式会社

## 嚴重注意に対する改善計画書の提出について

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:鈴木みゆき)は、2012年11月16日に国土交通省航空局より嚴重注意を受け、原因究明のうえ必要な再発防止策を講じており、その具体的な内容及び実施計画等を記した改善計画書を本日提出しましたことをご報告いたします。

当社における「確認主任者について業務規程等に基づく適切な資格管理体制の不備」、「不適切な状態を発見し是正する管理体制の不備」を嚴重に受け止め、教育等による規定遵守意識の再徹底、整備管理体制を含む社内体制の継続的な見直しを実施しております。最優先課題であります安全運航を支える組織をより盤石なものにするために、規定遵守意識の再徹底や安全管理体制の再構築につきましても、計画に基づき下記の施策を実施する所存です。

1. コンプライアンス意識、安全意識に関する追加教育実施
2. 整備本部のリソース増強を伴った体制の補強
3. 各担当業務に関する規定類の内容の再確認・改善

このたび嚴重注意を受け、ご利用いただいております多くのお客様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後とも安全管理体制の強化のうえ、運航率や定時運航率向上による利便性向上に努めてまいります所存です。

※本リリースは、国土交通記者会、国土交通省交通運輸記者会、成田空港記者会・民放クラブ、関西国際空港記者会へ配布しております。

### 〈ジェットスターグループについて〉

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長しているローコストキャリア(LCC)です。ジェットスターグループは日本、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナムに航空会社を有し、2013年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの30都市及び中国の8都市を含むアジア太平洋地域の約60都市に週3,000便を運航しています。2012年会計年度には、ジェットスターグループ全体で2,060万人超のお客様にご利用頂きました。

〈ジェットスター・ジャパン株式会社について〉

ジェットスター・ジャパンは2012年7月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航を開始したローコストキャリア(LCC)であり、2013年には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。国内線就航時には、A320型新造機3機(180席)で運航を開始しており、2014年末までに24機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。